

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

1/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

1. 化学品及び会社情報

1.1 製品情報

製品の名称 プロキシ液剤

製品コード (UVP) 05927285

1.2 推奨用途及び使用上の制限

使用 成長抑制剤

1.3 安全データシート作成者

供給者の会社名称・住所 エンバイロサイエンスジャパン
株式会社
東京都千代田大手町一丁目6番1号 大手町ビル2階

電話番号 03-6841-3843

ファクシミリ番号

担当部門 エンバイロサイエンスジャパン株式会社 QHSE部

1.4 緊急時の連絡先

グローバルインシデント対応 +1 (760) 476-3964 (Company 3E for Bayer AG, Crop Science Division)
ホットライン (24時間対応)

2. 危険有害性の要約

2.1 化学品のGHS分類

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル (改訂 6 版) による分類

眼に対する重篤な損傷: 区分1
H318 重篤な眼の損傷

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分3
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

2.2 GHS ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS分類マニュアル (改訂 6 版) による表示

供給/使用のための危険有害性の表示が必要である。

ラベルに表示されなければならない有害成分:

プロキシ液剤

版番号 2/J
102000004255

2/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

- エテホン



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

H318 重篤な眼の損傷
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310 直ちに医師に連絡すること。
P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

2.3 他の危険有害性

言及されたもの以外に既知の追加の危険有害性はありません。

3. 組成、成分情報

3.2 化学物質・混合物の区別：化学物質

化学名又は一般名

水溶液剤 (SL)
Ethephon 240 g/l

危険有害成分

一般名	化学名	CAS RN / 官報公示整理番号(安衛 法)	濃度又は濃 度範囲 [%]
エテホン	2-クロロエチルホスホン酸	16672-87-0 2-(3)-21	21.5

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

3/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者診察を受ける(可能ならばラベルを見せる)。危険域から避難させる。直ちに汚染された衣類を脱がせ、安全に廃棄すること。

吸入した場合

直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。新鮮な空気のある場所へ移動する。患者を暖かく安静にしておく。

皮膚に付着した場合

直ちに石けんと多量の水で洗い流す。

眼に入った場合

直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め、多量の水でゆすぐ。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状

今日まで、症状は知られていない。

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

取り扱い

症状に応じた治療を行う。胃洗浄は通常必要ありません。しかし、多量(一口以上)に摂取した場合は、活性炭と硫酸ナトリウムを投与してください。特に解毒剤なし。禁忌:アトロピン。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, 二酸化炭素 (CO2), 泡, 粉末

使ってはならない消火剤

大型棒状の水

5.2 特有の危険有害性

火災の際には危険なガスが発生する。、火災が発生した場合、次のものが発生する可能性がある:、一酸化炭素 (CO), 塩化水素 (HCl), 窒素酸化物 (NOx)

5.3 消防士へのアドバイス

消火を行う者の保護

火災や爆発の場合は、煙霧を吸い込まない。自給式呼吸装置と保護服を着用する。

詳細情報

火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

4/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項 こぼれやもれが起きている場所から風上に避難させる。漏出した製品や汚染された表面との接触を避けること。こぼれた物を扱うときは、飲食したり、喫煙しないでください。保護具を使用する。

6.2 環境に対する注意事項 地表水、排水口、地下水に入らないようにすること。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

除去方法 乾燥した不活性吸収剤クレーを使用して、ポンプ輸送、吸入または吸収によって製品を回収する。製品を回収し、適切にラベルを貼って密閉した容器に移す。汚染された床や物を徹底的に清掃し、環境規制を遵守すること。

追加アドバイス ローカルサイトの手順についても確認してください。

6.4 参照すべき他の項目 安全な取り扱いに関する情報は第7項を参照すること。
個人用保護具に関する情報は第8項を参照すること。
廃棄物処理に関する情報は第13項を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項 開封されていない包装/容器を取り扱うときは特に注意する必要はない。関連するマニュアルハンドリングのアドバイスに従うこと。適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。

技術的対策 熱や発火源から遠ざける。

接触回避・衛生対策 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。作業服は別に保管する。直ちに汚染された衣類を脱がせ、安全に廃棄すること。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。使用中は飲食及び喫煙を禁止する。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

安全な保管条件 納品時の容器でのみ保管する。保管場所には、許可された者のみが入り出す。低温で、換気の良い場所で容器の栓をしっかりと閉めておく。凍結から守る。直射日光を避ける。

一般的な保管について 食物、飲み物、飼料から遠ざける。

安全な容器包装材料 HDPE (高密度ポリエチレン)

7.3 特定の最終用途 ラベルおよび/またはリーフレットを参照すること。

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

5/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

成分	CAS RN	管理濃度	更新日	基準
エテホン	16672-87-0	1.4 mg/m ³ (TWA)		OES BCS*

*OES BCS: Bayer AG クロップサイエンス部門内 "Occupational Exposure Standard"

8.2 曝露防止

保護具

通常の使用および取り扱い条件では、ラベルおよび/またはリーフレットを参照してください。それ以外の場合は、以下の推奨事項が適用されます

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。
呼吸用保護具は、封じ込め及び/又は局所排気装置など、発生源からのばく露の軽減対策を取ったうえで短時間の活動の残留リスクを管理するために使用すること。装着及びメンテナンスに関しては製造元の説明書に従うこと。

手の保護具

手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。
汚染された手袋は洗うこと。内側が汚染した場合、穴が開いた場合、又は外側の汚染物質が除去できない場合は処分すること。飲食、喫煙、トイレの前には手をしっかり洗うこと。
材質 ニトリルゴム
透過度 > 480 min
手袋の厚さ > 0.4 mm
防護指数 クラス 6
指令 EN374に準じた防護手袋。

眼、顔面の保護具

ゴーグル (EN166;使用分野5または同等品に適合するもの) およびフェイスシールド (EN166;使用分野3または同等品に適合するもの) を着用してください。

皮膚及び身体の保護具

標準的なつなぎの作業着とカテゴリー3タイプ6の化学防護服を着用すること。
重大なばく露のリスクがある場合は、より高機能の防護服を検討すること。
可能であれば、2層の衣類を着用すること。 ポリエステル/綿または綿のオーバーオールを化学防護服の下に着用し、よく洗濯すること。

一般的な保護措置

製品が封入されていない状態で取り扱われ、接触が発生する可能性がある場合：
化学防護服

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

6/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の基本情報

物理状態	液体
色	無色から褐色
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	約 0.8 (100 %) (23 ° C) 原液で測定
融点/凝固点	-5 ° C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	関係なし、水溶液
可燃性	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	170 ° C
最低点火エネルギー	データなし
自己促進分解温度 (SADT)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (上限値)	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界 (下限値)	データなし
蒸気圧	< 0.013 hPa (25 ° C)
蒸発速度	データなし
相対ガス密度	データなし
相対密度	データなし
密度	約 1.11 g/cm ³ (20 ° C)
水に対する溶解度	可溶
n-オクタノール/水分係数 (log 値)	エテホン: log Pow: -1.89
粘度	データなし
動粘性率	データなし
酸化特性	データなし
爆発性	データなし

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

7/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

9.2 その他の情報 その他の安全性に関するデータなし

10. 安定性及び反応性

- 10.1 反応性** 通常の状態では安定。
- 10.2 化学的安定性** 推奨保管条件下では安定。
- 10.3 危険有害反応可能性** 水や水分の存在下で金属を腐食させます。通常の状態では安定。
規定の指示に従い保管・取扱いした場合、危険有害性反応は起こらない。
pHが上昇した場合にエチレンを放出するリスク有。
- 10.4 避けるべき条件** 湿気への暴露。
熱、炎、火花。
- 10.5 混触危険物質** 亜鉛, 鉄, 銅, 強酸化剤, 塩基類, 軟鋼, アルミニウム
- 10.6 危険有害な分解生成物** 通常の手扱い条件下では分解生成物はなし。

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

- 急性毒性 (経口)** LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入)** ATE (混合物) > 5.0 mg/l
ばく露時間: 4 h
計算による方法
- 急性毒性 (経皮)** LD50 (ラット) > 2,000 mg/kg
- 皮膚腐食性/刺激性** わずかな刺激性 - 表示は必要なし (ウサギ)
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性** 腐食性
pHが2以下であることを考慮し、眼に重篤な刺激性があると考えられる。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性** 呼吸器系:
データなし
皮膚: 皮膚感作性なし (モルモット)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

エテホン: 入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

エテホンは、動物実験において特定の標的臓器毒性を示さなかった。

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

8/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

生殖細胞変異原性

エテホンは、in vitroおよびin vivoで変異原性または遺伝毒性を示さなかった。

発がん性

エテホンは、ラット及びマウスの試験において発がん性は認められなかった。

生殖毒性

エテホンは、ラットの2世代研究では生殖毒性を引き起こさなかった。

発生毒性

エテホンは、ラットおよびウサギにおいて発生毒性を引き起こさなかった。

誤えん有害性

入手可能なデータに基づく分類基準は満たされない。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)) 435 mg/l
ばく露時間: 96 h

水生無脊椎動物に対する毒性

EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)) 301 mg/l
ばく露時間: 48 h

水生植物に対する毒性

ErC50 (藻類) 377 mg/l
成長速度; ばく露時間: 72 h
EC50 (Raphidocelis subcapitata (淡水性緑藻)) 13 mg/l
ばく露時間: 72 h
有効成分エテホンによる値
EC50 (Lemna gibba (イボウキクサ)) > 1.6 mg/l
ばく露時間: 14 d
有効成分エテホンによる値
EC10 (Lemna gibba (イボウキクサ)) 0.21 mg/l
有効成分エテホンによる値

12.2 残留性・分解性

生分解性

エテホン:
急速な生分解性は認められない

Koc

エテホン: Koc: 2540

12.3 生体蓄積性

生体蓄積性

エテホン:
生物濃縮なし

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

9/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性

エテホン: 土壌中でわずかに移動する

12.5 PBT および vPvB の評価結果

PBT および vPvB の評価

エテホン: 生物濃縮性で有毒な難分解性化学物質 (PBT) とはみなされな
ない。高生物濃縮性で高難分解性化学物質 (vPvB) であるとは考えられてい
ない。

12.6 その他の有害影響

生態系に関する追加情報

言及すべき他の効果はない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等産業廃棄物に関する法律、都道府県お
よび市町村の関連条例に従って処理すること。

14. 輸送上の注意

国内規則

鉄道および道路輸送

非該当

指針番号

154

海上輸送

船舶安全法の規制に従う。

航空輸送

航空法の規制に従う。

包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

IMDG

14.1 国連番号

3265

14.2 品名 (国連輸送名)

CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, ORGANIC, N. O. S.
(ETHEPHON SOLUTION)

14.3 国連分類

8

14.4 容器等級

III

14.5 海洋汚染物質

非該当

Segregation group according to
5.4.1.5.11.1

IMDG SEGREGATION GROUP 1 - ACIDS

IATA

14.1 国連番号

3265

14.2 品名 (国連輸送名)

CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, ORGANIC, N. O. S.
(ETHEPHON SOLUTION)

14.3 国連分類

8

14.4 容器等級

III

14.5 環境危険有害性マーク

非該当

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

10/11

改訂日: 2022/08/01

印刷日: 2022/08/01

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

詳細情報

WHO分類: III (わずかに有害)

農薬取締法

登録番号 : 22933 (Bayer CropScience K.K.)

消防法

非該当

労働安全衛生法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

非該当

16. その他の情報

1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。

2. 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。

3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。

中毒の緊急問い合わせ先 : 公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い、急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民向け相談電話 医療機関専用有料電話
(情報提供料:無料) (情報提供料:一件2,000円)

大阪 (365日、24時間対応) 072-727-2499 072-726-9923

つくば (365日、9時~21時対応) 029-852-9999 029-851-9999

医療機関の方が一般市民用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

プロキシ液剤

版番号 1/J
102000004255

11/11

改訂日: 2022/08/01
印刷日: 2022/08/01

最も最近の版以降の変更は、余白に特記してあります。この版は、これまでの全ての版に代わるものです。